



Immich-Batterieberg

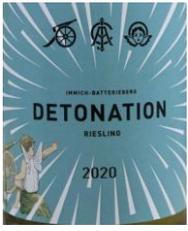
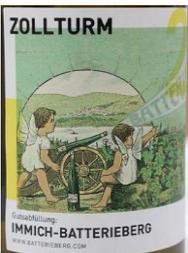
イミツヒ=バッテリーベルク

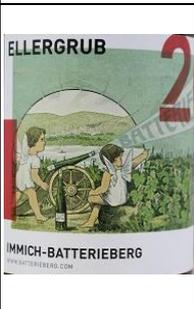
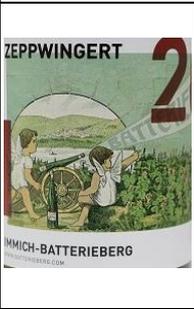


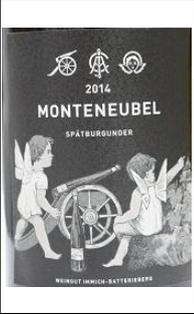
イミツヒ=バッテリーベルクの「イミツヒ」は、1425年から醸造所を切り盛りしてきたイミツヒ家に由来する。そして「バッテリーベルク」は、19世紀半ば、モーゼル川沿いの急斜面を爆破して、ブドウ畑を造成した際の轟音を、砲兵隊Batterieの砲撃に例えたことに因んでいる。そして2009年から、ザールのファン・フォルクセン醸造所で2003年まで醸造責任者だったゲルノート・コルマンが、経営と醸造を担っている。

19ヘクタールのブドウ畑の大半が、1868年のプロイセン王国政府の格付け地図で、グラン・クリュに格付けされている。急峻なブドウ畑で、樹齢80年以上の自根の古木が多い。その収穫は、9世紀まで遡る醸造所の地下にある、玄武岩の柱が支える石造りのセラーで醸造される。微量の亜硫酸以外の添加物を一切使わずに、野生酵母だけで発酵した、目の覚めるような味わいのリースリングである。

		◎Detonation bubbles - Riesling Sekt Extra Brut デトナチオン・パプルス リースリング・ゼクト・エクストラ・ブリュット		備考
畑	品種：リースリング100% 位置：標高280m、南西向き、斜度約40度 土壌：灰色・赤色の粘板岩	醸造	ベースワインはステンレスタンクで7か月間発酵 約2年3か月間瓶内熟成 瓶内二次発酵、ドサーージュなし	
		◎Jour Fixe - Riesling Sekt Brut Nature ジュール・フィクス リースリング・ゼクト・ブリュット・ナチュラル		備考
畑	品種：リースリング100% 植樹：1960年頃、自根が多い 位置：標高140~300m、西~南西向き 土壌：灰色・青色の粘板岩	醸造	ベースワインは木樽で約7か月間醗酵 約2年間瓶内熟成 添加物は二次発酵用の酵母のみ 瓶内二次発酵、ドサーージュなし	
		◎Jour Fixe - Spätburgunder Rosé Brut Nature ジュール・フィクス シュベートブルグンダー・ロゼ・ブリュット・ナチュラル		備考
畑	品種：シュベートブルグンダー100% 植樹：1990~2005年 位置：南~南西向き 土壌：灰色・赤色の粘板岩	醸造	全房圧搾後、ステンレスタンクで野生酵母により発酵 ステンレスタンクで11か月間シュールリー熟成後、瓶内で2年間熟成 瓶内二次発酵	
		○CAI - Riesling trocken シー・エー・アイ リースリング・トロッケン		備考
畑	品種：リースリング100% 植樹：1960~1995年 位置：標高130~300m 南西・南・南東向きの斜面 土壌：灰色・赤色・青色のデヴォン紀粘板岩	醸造	マセレーションは数時間程度 ステンレスタンクで野生酵母により発酵、澱引きせずに9か月間シュールリー熟成 瓶詰直前まで亜硫酸塩は添加しない 発酵温度の調整もしない	

	○Detonation Riesling デトナチオン・リースリング		備考 当初エントリーレベルはCAIしか造っていなかったが、タンクの中にはブレンドしてしまうのがもったいない品質を感じるものがあり、2016VTから別々にリリースすることにした。シーフードが好きなので、それにあうよう、CAIよりもストレートでキレのある、より精緻で塩気を感じるワインができるブドウ畑を選んだという。ブドウの60%は自社畑で、ブリーデル村の畑の収穫が多い。30%はイミツヒの栽培家が所有するブドウ畑のもので、10%はドーロナー・ホフペルクの自根の古木のもの。すべて40年以上のブドウ樹のみ。
畑	品種：リースリング100% 植樹：1960~1995年 位置：標高130~300m 南西・南・南東向きの斜面 土壌：灰色・赤色・青色のデヴォン紀粘	醸造 マセレーションは数時間程度 ステンレスタンクで野生酵母で発酵し、澱引きせずに9か月間シュールリー熟成 瓶詰直前まで亜硫酸塩は添加しない 発酵温度の調整もしない	
	○Elbling エルブリング		備考 モーゼル上流でローマ時代から栽培されていたエルブリングは、近年ブルグンダー（ピノ）系品種に植え替えられて年々栽培面積が減っている。これを危惧したゲルノートは、ルクセンブルクの対岸にあるニッテル村のブドウ畑ニッテラー・カペレンベルクNitteler Kapellenbergのエルブリングが育つ畑約0.8haを購入。2023年が初生産年。アルコール濃度9.5%ほどの軽やかで繊細な辛口。
畑	品種：エルブリング100% 植樹：1980~1990年代 位置：標高130~190m 南西・南向きの緩斜面 土壌：石灰質土壌	醸造 手作業で収穫後約3時間、常温で果汁に果皮・果肉を漬け込んでから压榨一切の化学合成物質・培養酵母など使わず、果汁のみを醸造 ステンレスタンクで野生酵母により自然にアルコール発酵、乳酸発酵を行い、そのまま澱の上で約9か月間熟成 亜硫酸無添加で瓶詰め	
	○Escheburg Riesling エシェブルク・リースリング		備考 「エシェブルク」は、現在醸造所になっている築1000年以上の城塞の名前。エンキルヒ村周辺の、複数の畑の収穫を用いた村名ワインに相当する。凝縮感と力強さが特徴的。
畑	品種：リースリング100% 植樹：1945~1960年 位置：標高130~300m、南~南西向き （複数の畑の収穫を用いる） 土壌：灰色・赤色・青色のデヴォン紀粘板岩	醸造 約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、約11か月間澱引きせずに亜硫酸塩無添加で熟成	
	○Briedeler Herzchen Riesling ブリーデラー・ヘルツヒェン・リースリング		備考 2019VTが初リリース。Herzchenは「小さなハート」の意味。ブリーデルはモーゼル川沿いに14km下流の村で、シュヴァルツカッツで有名なツェルに近い。
畑	品種：リースリング100% 植樹：1978~1984年 位置：標高280m （ブリーデルの村は130m） 南西向き、斜度約40度 土壌：灰色・赤色の粘板岩	醸造 約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、約11か月間澱引きせずに亜硫酸塩無添加で熟成	
	○Trabener Zollturm Riesling トラーベナー・ツォルトトゥルム・リースリング		備考 斜面の頂きに、かつてモーゼルを通行する船舶から税金を徴収するための見張りの塔があったことにちなむ。
畑	品種：リースリング100% 植樹：植樹年不明、非常に古い自根のブドウ樹 位置：標高140~310m 南向きの最上の区画 斜度約45度 土壌：珪岩混じりの灰色粘板岩	醸造 約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、約11か月間澱引きせずに亜硫酸塩無添加で熟成	

	<p align="center">○Enkircher Steffensberg Riesling エンキルヒャー・シュテッフェンスベルク・リースリング</p>		<p>備考</p> <p>村の北側の南向き斜面で、赤スレートと表土の厚さが、親しみやすく明るくスパイシーな、独特な個性を与えている。 Wine Advocateで2020VTが93.を取得。</p>
<p>畑</p> <p>品種：リースリング100% 植樹：1955年、自根 位置：標高140~200m、南向き 土壌：灰色・赤色デヴォン紀粘板岩鉄分を含む</p>	<p>醸造</p>	<p>約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、約11か月間澱引きせずに亜硫酸塩無添加で熟成</p>	
	<p align="center">○Enkircher Ellergrub Riesling エンキルヒャー・エラーグループ・リースリング</p>		<p>備考</p> <p>バッテリーベルクの隣の急斜面で、トラクターが入ることのできない、すべてを手作業でおこなわなければならない畑。耕地整理を免れた貴重な畑で、自根の古木が多い。 Wine Advocateで2020VTが95.を取得。</p>
<p>畑</p> <p>品種：リースリング100% 植樹：1930年ころかそれ以前、自根 位置：南西~南東向き 土壌：暗い青色のデヴォン紀粘板岩の割合が高く、風化が進んだ細かい破片が多い</p>	<p>醸造</p>	<p>約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、澱引きせずに亜硫酸塩無添加で1年間以上熟成</p>	
	<p align="center">○Enkircher Batterieberg Riesling エンキルヒャー・バッテリーベルク・リースリング</p>		<p>備考</p> <p>彼らの所有する畑の中でも特に樹齢が高い自根の古木が多い。斜面の中腹から上部の区画。酸味とミネラルだけでなく複雑味とボディを合わせもつ。 Wine Advocateで2020VTが96+.を取得。</p>
<p>畑</p> <p>品種：リースリング100% 植樹：1930年ころかそれ以前、自根が多い 位置：標高130~250m、西~南西向き 土壌：灰色粘板岩、珪岩の割合が高い</p>	<p>醸造</p>	<p>約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、澱引きせずに亜硫酸塩無添加で1年間以上熟成</p>	
	<p align="center">○Enkircher Zeppwingert Riesling エンキルヒャー・ツェップヴィンゲルト・リースリング</p>		<p>備考</p> <p>バッテリーベルクの畑の隣の、さらに樹齢の高い自根のブドウ樹が栽培されている畑。 Wine Advocateで2020VTが98/100.を取得。</p>
<p>畑</p> <p>品種：リースリング100% 植樹：1930年代以前 位置：標高130~250m、西~南西向き 土壌：暗灰色粘板岩</p>	<p>醸造</p>	<p>約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、澱引きせずに亜硫酸塩無添加で1年間以上熟成</p>	
	<p align="center">○Enkircher Zeppwingert Réserve Riesling エンキルヒャー・ツェップヴィンゲルト・レゼルヴ・リースリング</p>		<p>備考</p> <p>エンキルヒャー・ツェップヴィンゲルトの畑の中でも高樹齢の自根のブドウ樹から少量得られた収穫を、野生酵母で発酵して2年間300Lの小樽で熟成。6本入りの木箱。</p>
<p>畑</p> <p>品種：リースリング100% 植樹：樹齢100年以上、自根 位置：標高130~250m、西~南西向き 土壌：暗灰色粘板岩</p>	<p>醸造</p>	<p>約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、澱引きせずに亜硫酸塩無添加で2年間熟成</p>	
	<p align="center">●ROB - Spätburgunder Rosé trocken アール・オー・ビー シュペートブルグンダー・ロゼ・トロッケン</p>		<p>備考</p> <p>モーゼルの急斜面に植わるシュペートブルグンダーの、ほんのりと薄いロゼワイン。柑橘系の明るい果実味に、タイムなどのハーブの香り。洗練されたスタイルだが、気軽に楽しめるトーンの味わい。ROBの意味は「Rose from Batterieberg」で、CAIと並ぶ位置づけ。ブドウは、10%モンテノイベル、40%ドーロナー・ホーフベルク、50%ブリーデラー・ヘルツヒェンの畑から収穫される。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シュペートブルグンダー100% 植樹：1990~2005年 位置：南~南西向き 土壌：灰色・赤色の粘板岩</p>	<p>醸造</p>	<p>収穫後すぐに压榨、ステンレスタンクで野生酵母により発酵 11か月間シュールリー</p>	

	<p align="center">● Enkircher Monteneubel Spätburgunder エンキルヒャー・モンテノイベル・シュペートブルグンダー</p>		<p>備考</p> <p>「モンテノイベル」という畑名で栽培されているシュペートブルグンダー（ピノ・ノワール）。2年間の樽熟成により、余計な果実味やタンニンを落ち着かせた、端正なピノ・ノワール。2011VTはラベルデザインが異なり、白いエチケットでのリリース。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シュペートブルグンダー100% 植樹：1998年 土壌：赤色粘板岩</p>	<p>醸造</p> <p>果梗100%で、合成樹脂のコンテナでピジャージュしながら1か月間マセレーション 容量225~300Lの木樽で2年間熟成</p>		
	<p align="center">○ Enkircher Batterieberg Riesling Auslese エンキルヒャー・バッテリーベルク・リースリング・アウスレーゼ</p>		<p>備考</p> <p>貴腐のつかない、しかしやや乾燥してしなびはじめた収穫を使った。醸造手法は他と同じで、残糖は発酵が自然にストップして残ったもの。ワインがなるべくしてなった甘口。</p>
<p>畑</p> <p>品種：リースリング100% 植樹：1930年頃かそれ以前、自根 位置：標高130~250m、西~南西向き 土壌：灰色粘板岩、珪岩の割合が高い</p>	<p>醸造</p> <p>約12~18時間マセレーション 容量225~300Lの古い木樽で発酵後、澱引きせずに亜硫酸塩無添加で1年以上熟成</p>		